



# News Letter

## 検査センター勉強会報告

第8回(平成28年11月21日開催)

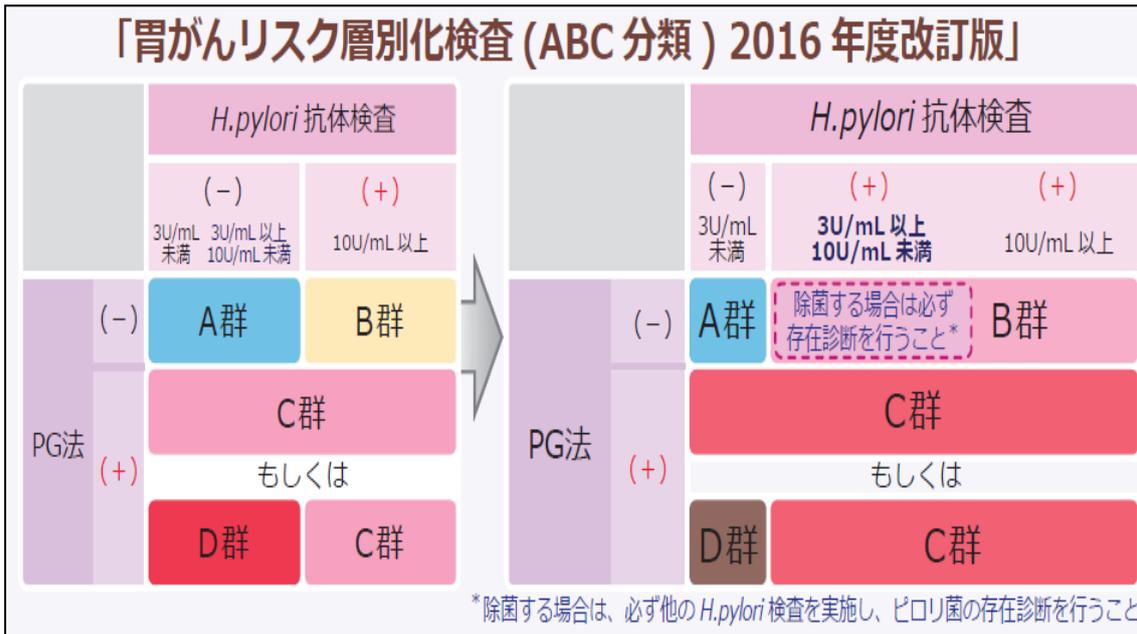
呉市医師会臨床検査センター, 〒737-0056, 呉市朝日町13-3

電話:0823-25-7755 FAX:0823-24-8890

### 1 「胃がんリスク評価“ABC分類”の正しい運用のために」

#### ABC分類/HP抗体の判定基準変更に伴うフロー変更

- ABC分類で使用HP抗体検査の試薬(栄研)を LA ⇒ EIAに変更する。
- ABC分類で使用するヘリコバクター・ピロリ抗体(EA)の判定基準値を10U/mL未満 ⇒ 3U/mL未満に変更する。
  - ▼新判定区分はABC分類専用の基準とする。 ※臨床用は、10U/mL未満を採用する。
  - ▼EIA法の3~9.9までの取り扱い ⇒ 現)A ⇒ 新)B判定とする
  - ▼HP抗体(LA)は、ABC分類では使用不可とし、臨床用として使用する。
    - ・LAの新判定基準も来年4月以降に開示される見込み
    - ・LAの基準値は、臨床用に限定して現基準10U/mLで運用
- 検査項目:胃がんリスク層別化検査(ABC分類)(略称案:ABC分類2016年度改訂版)
- 除菌者の取り扱いについては、検査の結果によらずABC判定は行わず、HP抗体とペプシノゲンの結果のみ返却、E(Eradication)群として報告する。



ABC分類判定対象外

E(Eradication)群  
(除菌群)

ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除菌判定の結果に関わらず、ABC分類の判定の対象にはなりません。E群(除菌群)として区別します。

●変更期日:平成29年4月1日受付日より

#### 「胃がん層別化リスク検査」での新設定される各コメント

**A群** おおむね健康的な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。逆流性食道炎などピロリ菌に関連しない病気に注意しましょう。未感染の可能性が高いですが、一部にはピロリ菌の感染や感染の既往がある方が含まれます。一度は内視鏡検査などの画像検査を受けることが理想的です。

**B群** 少し弱った胃粘膜です。胃かいよう・十二指腸かいようなどに注意しましょう。内視鏡検査を受けましょう。ピロリ菌の除菌治療をお勧めします。

**C群** 萎縮の進んだ弱った胃粘膜と考えられます。胃がんになりやすいタイプと考えられます。定期的な内視鏡検査をお勧めします。ピロリ菌の除菌治療をお勧めします。

**D群**

萎縮が非常に進んだ胃粘膜と考えられます。胃がんなどの病気になるリスクがあります。ピロリ菌感染診断をお勧めします。必ず専門医療機関で内視鏡検査などの診断を受けてご相談ください。

**E群**

ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除菌判定の結果に関わらず、E群(除菌群)として定期的に内視鏡検査を受けましょう。

E群は除菌により胃がんになるリスクは低くなりますが、決してゼロになるわけではなく、除菌後も内視鏡検査による経過観察が必要です。

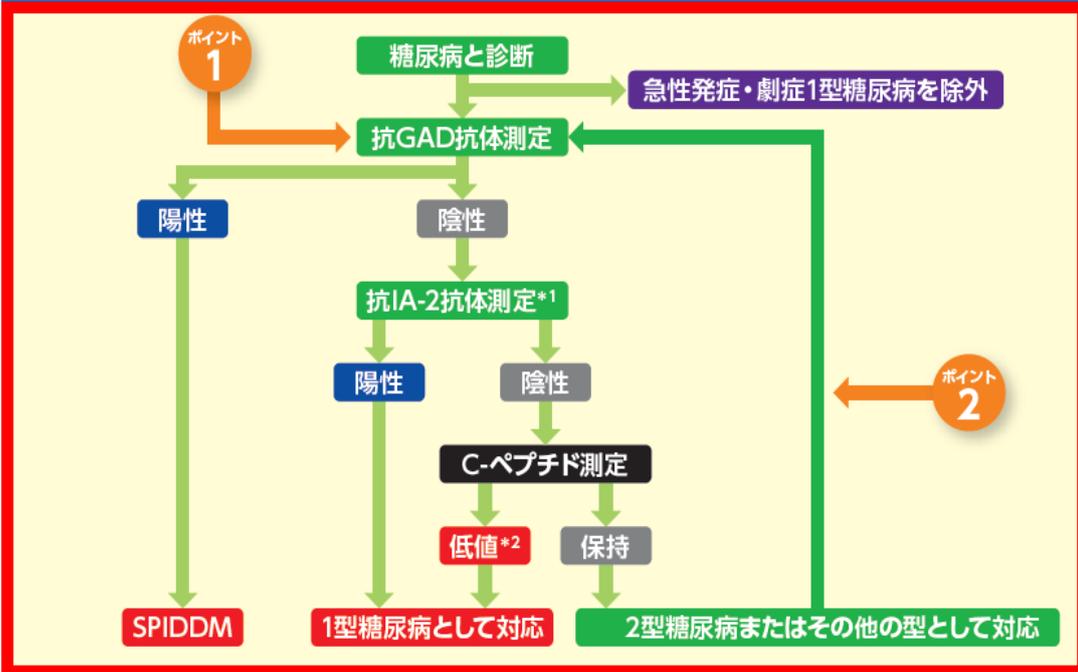
## 2 「1型糖尿病の診断補助に”抗GAD抗体“が有用」

### 糖尿病の成因分類

- ① 1型(β細胞の破壊、通常は絶対的インスリン欠乏に至ります)
  - A. 自己免疫性    B. 突発性
  - **インスリン依存型(IDDM) 約5%** 殆ど20才ぐらいまでに発病(小児糖尿病)
  - **一生涯、一日数回のインスリン注射が必須+運動+食事療法を併用**
- ② 2型(インスリン分泌低下を主体とするものと、インスリン抵抗性が主体で、それにインスリンの相対的不足を伴うものなどがあります)    → **インスリン非依存型(NIDDM) 約95%**
- ③ その他の特定の機序、疾患によるもの
  - A. 遺伝因子として遺伝子異常が同定されたもの
  - B. 他の疾患、条件に伴うもの
- ④ 妊娠糖尿病(GDM)
  - 妊娠中に発症もしくは見つかった糖尿病

**ポイント 1** 一見、2型糖尿病様であっても、実は緩徐進行1型糖尿病(SPIDDM)が隠れていることがあります。糖尿病診断時には抗GAD抗体を測定し、SPIDDMを見逃さないようにしましょう。

**ポイント 2** 2型糖尿病として治療中に、抗GAD抗体の陽転化がみられることがあります。定期的に抗GAD抗体を測定し、SPIDDMの早期発見に努めましょう。



### 抗GAD抗体/ どんな糖尿病患者 さんに測定？

- BMIが低い
- 著明な高血糖を認める
- 他の自己免疫疾患(甲状腺疾患など)を合併している
- 家族に1型糖尿病患者がいる
- C-ペプチド反応が低下している
- 薬物療法を開始する時 など

糖尿病と診断がついたら、抗GAD抗体の測定を！

肥満があり、典型的な2型糖尿病にみえても抗GAD抗体陽性例が意外と存在し、測定しないと区別がつかないケースがあるためです。また、当初、抗GAD抗体が陰性でも何年かしてから陽性になるケースもあります。

検査項目名	実施料 《判断料》	検査材料	基準値 U/mL	所要日数	料金	
抗GAD抗体	134点(D008 15) 《生II》	血清 0.3mL	5.0未満	3~5日	872円	
抗IA-2抗体	213点(D008 39) 《生II》	血清 0.3mL	0.4未満	4~10日	1840円	
ABC分類	ヘリコバクター・ピロリ抗体	80点(D0012 12) 《免疫》	血清 0.3mL	陰性(-) 10未満	3~4日	560円
	ペプシノゲン	保険未収載	血清 0.3mL	検査案内参照	3~4日	1900円

※「ABC分類」と備考欄にご記入下さい